

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35164
事業名	アイヌ伝統文化振興費					
評価担当課	所属名	市)市民生活部 アイヌ施策課				
	課長名	大屋 伸一	担当者名	島田 直子	電話番号	011-211-2277
施策名	主	地域で共生する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	市民理解の促進、伝統文化の保存・継承・振興、生活関連施策の推進、生活関連施策の推進			
		長期	アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現			
	取組内容	アイヌの伝統的な生活様式や舞踊、歴史などを市民に紹介して、伝統文化の保存、継承、振興を図る。①小中高校生団体体験プログラムの実施・充実(実施校数増加) ②小中高校生団体出前体験プログラムの実施・充実(同①) ③公共空間等を利用した情報発信(夏まつり、オータムフェスト、雪まつりチカホイベント) ④センターイベントや市民交流(輪踊り)の実施 ⑤文化体験講座の実施 ⑥工芸品振興事業 ⑦市民参加型アイヌアートモニュメント設置事業 ⑧伝統的生活空間の再生事業 ⑨バスツアーの実施 ⑩伝統楽器(ムックリ)の活用 ⑪資源調査 ⑫センター広報				
実施結果	①小中高校生団体体験プログラム58校 ②小中高校生団体出前体験プログラム65校 ③・④新型コロナ感染拡大の影響で中止 ⑤アイヌ文化体験講座実施 ⑥チカホにてアイヌ工芸品展示販売等を実施、サッポロファクトリーに札幌市アイヌ文化PRコーナーを設置 ⑦作品を制作 ⑧自然素材育成、体験交流(民具・料理づくり)実施(子ども遊びは新型コロナ感染拡大の影響で中止) ⑨新型コロナ感染拡大の影響で中止 ⑩団体体験プログラム(出前含む)にて活用(7千本) ⑪資源調査を実施 ⑫センター広報実施					
事業実施における工夫点	アイヌ民族の伝統的な生活様式や文化などの紹介及びアイヌ文化を身近に感じる機会の創出により、アイヌ伝統文化の保存、継承、振興を図る。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律					
他都市の状況	アイヌの伝統的生活空間の再生実施地域:白老地域(平成18年度～)、平取地域(平成20年度～)、札幌地域(平成24年度～)、新ひだか地域(平成25年度～)、十勝地域(平成27年度～)、釧路地域(平成30年度～)					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	43,909	82,000	38,254	84,000	
うち特定財源	33,991	64,821	28,949	60,148	
人工	3.8	3.8	0.0	2.5	
人件費	27,360	27,360	0	18,000	
計(事業費+人件費)	71,269	109,360	38,254	102,000	
事業費の内訳	令和3年度決算	【R3年度決算38,254千円】小中高校生団体体験・出前体験プログラム12,101千円 イオル再生事業2,393千円 アイヌ文化体験講座635千円 アイヌアートモニュメント設置事業753千円 ブランド化推進9,983千円 工芸品販売会6,602千円 ムックリ活用4,120千円 その他1,667千円			
	令和4年度予算	【R4年度予算84,000千円】小中高校生団体体験・出前体験プログラム16,870千円 イオル再生事業4,143千円 アイヌ文化体験講座3,254千円 アイヌアートモニュメント設置事業1,219千円 ブランド化推進28,590千円 ムックリ活用4,752千円 その他25,172千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	小中高校生団体体験プログラム参加校数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	52	80	58	75	
活動指標2	指標名	小中高校生団体出前体験プログラム			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	63	50	65	62	
成果指標1	指標名	アイヌ文化交流センター入館者数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	31420	58000	13243	60000	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部事業の中止があったものの、その他実施事業では、伝統文化を幅広く紹介することができた。特に、小中高校生に対する体験プログラムの継続的な提供を通じて、若い世代への文化の浸透が進んできているものと考えている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	アイヌの伝統文化に関する市民理解をより一層促進するため、既存事業の拡充に取り組んでいる。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	事業を効果的・効率的に実施するために、各取組についての知識やノウハウ等を有する事業者へ委託しているほか、他部局や民間事業者が実施する事業等と連携しながら行っており、実施手法は適切と考える。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部事業の中止があったものの、実施した事業において伝統文化を幅広く紹介し、全体として対象者に好評をいただいている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	特になし				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0千円	
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルスの影響により、センターの来館者が減少したものの、全体としてアイヌ施策推進計画に定める施策目標の推進に寄与できたと考える。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 新型コロナウイルスの影響によりアイヌ文化交流センターの来館者数が減少している。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 アイヌ文化に対する市民理解の更なる促進と保存・継承・振興を図るため、取組の充実を図っていく。		見直し効果額	0千円